

・使用項目は任意

カテゴリID	カテゴリ名	説明	データタイプ	推奨単位	データ名	データ名の定義	優先度					
1	時計データ	システム時間	ワード		年		優先度1					
					月		優先度1					
					日		優先度1					
					時		優先度1					
					分		優先度1					
2	アイテムデータ	設定品種データ	ワード		アイテム番号(品種番号)		優先度1					
			String(20ワード)		アイテム名(品種名)		優先度1					
3	メーカー別アイテムデータ	パラメータデータ	ワード		メーカー別データ1～n	メーカーごとにデータ表作成	優先度1					
10	稼働情報	機械の稼働状態	2ワード	min min min 個 個 個/min min ×0.1% ×0.1% 個	運転時間	機械が運転状態の累積時間（停止・トラブル停止時間以外の累積）※待機時間がある場合は停止・トラブル停止時間・待機時間以外の時間	優先度1					
					停止時間	機械が停止状態の累積時間（トラブル停止時間以外の停止時間の累積）	優先度1					
					トラブル停止時間	機械がトラブル停止状態の累積時間（トラブル停止してからリセットSWを押すまでの累積時間）	優先度1					
					待機時間	機械が待機状態の累積時間（上流・下流停止中、ワーク待ち・・・等、機械が運転状態で生産していない状況）	優先度2					
					出来高（良品数）	良品個数	優先度1					
					排出数	全ての排出の合計（良品以外の排出数）	優先度1					
					機械能力	機械の実能力(個/分、小数点無し) 実際の包装個数(瞬間能力)	優先度2					
					稼働時間	運転時間 + トラブル停止時間 + 待機時間	優先度2					
					稼働率	運転時間 / 稼働時間	優先度2					
					品質（良品率）	出来高（良品数） / 総生産数	優先度2					
11	稼働情報	OEE情報	2ワード	×0.1% ×0.1% ×0.1% ×0.1% 個/min 個/min min 個/min	OEE	可動率（べき動率） × 性能 × 品質	優先度3					
					可動率（べき動率）	実働時間 / 稼働時間	優先度3					
					性能	実効能力 / 標準能力	優先度3					
					品質（良品率）	出来高（良品数） / 総生産数	優先度3					
					上流能力	上流の機械の設定能力（データを受け取れない場合は手入力）	優先度3					
20	機械状態	機械の状態	ビット／ワード内ビット		運転中		優先度1					
					停止中		優先度1					
					トラブル中		優先度1					
					待機中		優先度1					
					前工程停止中		優先度2					
					後工程停止中		優先度2					
					運転準備中	起動SW ON⇒生産可能状態までの時間（例 原点復帰が完了するまでなど、起動SWで生産ができる状態の前の状態までON）	優先度2					
					停止準備中	停止SW ON⇒機械が停止するまでの時間（例 停止SWを押してから減速中を含む機械が停止するまでON）	優先度2					
					100	トラブル停止状態	トラブル別の状態	ビット／ワード内ビット		トラブル1～トラブルn	トラブルが発生しているトラブルIDのオフセットしたビットがONしている	優先度1
					101	トラブル停止状態	トラブル累積データ 「トラブル発生回数」と 「トラブル累積時間」のデータをセットで運用	ワード	回 sec	トラブル発生回数 トラブル累積時間	1～n回 32767Sec = 9.1時間 1秒毎にINC	優先度2 優先度2
102	トラブル停止状態	トラブル別の状態	2ワード		トラブル1～トラブルn	トラブルが発生しているトラブルID nは同時発生を認識出来る最大数 ※ビット(カテゴリ100)、ID(カテゴリ102)どちらかの表現でも可	優先度1					
110	警告/警報/注意状態	警告別の状態	ビット／ワード内ビット		警告1～警告n	警告が発生している警告IDのオフセットしたビットがONしている 機械は停止していないときの発報（例 資材不足）	優先度2					
111	警告/警報/注意状態	警告累積データ 「警告発生回数」と 「警告累積時間」のデータをセットで運用	ワード	回 sec	警告発生回数 警告累積時間	1～n回 32767Sec = 9.1時間 1秒毎にINC	優先度2 優先度2					
112	警告/警報/注意状態	警告別の状態	2ワード		警告1～警告n	警告が発生している警告ID nは同時発生を認識出来る最大数 ※ビット(カテゴリ110)、ID(カテゴリ112)どちらかの表現でも可 機械は停止していないときの発報（例 資材不足）	優先度2					
200	サーボデータ	サーボの状態 「サーボアラームコード」 「実効トルク」「ピークトルク」 のデータをセットで運用	ワード	×0.1% ×0.1%	サーボアラームコード 実効トルク ピークトルク	x n	優先度2 優先度2 優先度2					
210	ヒートシール温度データ	ヒートシール温度状態	ワード	×0.1℃	ヒータ実測値1～n	実測値（設定値はアイテムデータ） 小数点は倍率を設定（メモリ割付でx 0.1℃単位を指示） 実測値（設定値はアイテムデータ）	機種依存					
211	ヒートシール圧力データ	ヒートシール圧力状態	ワード	Mpa	ヒートシール圧力1～n		機種依存					
212	ヒートシール時間データ	ヒートシール時間状態	ワード	mmsec	シール時間実測値	実測値（設定値はアイテムデータ）	機種依存					
220	カッターデータ	カッターの使用状態	2ワード	回	カッター動作回数1～n		機種依存					
230	シリンダーデータ	シリンダーの動作状態 「シリンダ動作回数」 「行き動作時間」「戻り動作時間」 のデータをセットで運用	2ワード	回 sec sec	シリンダー動作回数1～n		優先度1					
					行き動作時間1～n	使用していない場合は0入力	優先度1					
					戻り動作時間1～n	使用していない場合は0入力	優先度1					
240	吸引データ	吸引ユニット（吸盤）ごとの状態	2ワード	回	吸引回数1～n		機種依存					
250	ホットメルトデータ	ホットメルトの使用状態	2ワード	回	ガン吐出回数1～n		機種依存					
260	印字装置		ワード		年		機種依存					
					月		機種依存					
					日		機種依存					
					時		機種依存					
					分		機種依存					
261	印字装置		ワード		選択中アイテムNo.	0～999 / 選択中アイテム無し 65535(-1)	機種依存					
			String(20ワード)		選択中アイテム名	最大40文字（20ワード）	機種依存					
262	印字装置		ビット		運転中 停止中 トラブル中		機種依存 機種依存 機種依存					
300	電力消費量	機械の電力消費量	ワード	KW	電力消費量		優先度2					
301	エア消費量	機械のエア消費量	ワード	L/min(ANR)	エア消費量		優先度2					
500	回数データ		2ワード	回	部品ごとの回数データ1～n	各メーカーごとにデータ表作成	メーカー判断項目					
501	累積の回数データ		2ワード	回	部品ごとの累積回数データ	各メーカーごとにデータ表作成	メーカー判断項目					
510	時間データ		ワード	min	部品ごとの時間のデータ	各メーカーごとにデータ表作成	メーカー判断項目					
511	累積時間データ		2ワード	min	部品ごとの累積時間データ	各メーカーごとにデータ表作成	メーカー判断項目					
1000	予防保全データ		ワード			各メーカーごとにデータ表作成	メーカー判断項目					
2000	予兆保全データ		ワード			各メーカーごとにデータ表作成	メーカー判断項目					
5000	他団体のフォーマット領域 ※1		ワード			他団体のフォーマット適用領域	拡張領域					
10000	拡張領域											

※1：Pack MLの定義を適用する場合等、他団体のフォーマットを適用する場合の領域